

フローレンス・ナイチンゲールはイギリスの看護師であり、世界初の看護学校の設立や病院建設など医療制度の改革に大きく貢献しました。

彼女の功績としては、1853年から1856年の間に行われた「クリミア戦争」での貢献が有名で、フローレンス・ナイチンゲールと看護婦団の働きにより死亡者数が大幅に減られたと言われています。



1820.5/12-1910.8/13

ナイチンゲール年表

1820年 5/12	両親の新婚旅行先であったイタリア・フィレンツェで誕生。慈善活動に携わり看護の道を志すようになるが、両親から猛反対される。	
1851年	両親の反対を押し切り、ドイツのカイザースヴェルト学園に入学。	
1853年	ロンドンの病院に就職する。	
1854年	クリミア戦争下、イスタンブールの野戦病院で2年間看護活動をする。	
1856年	クリミア戦争が終結し、イギリスへ帰国。病院の状況分析を行う。レーダーチャートの先駆けとなるグラフを作成し、統計学の先駆者としても知られる。	
1857年	過労で倒れ、本の執筆や手紙による交渉、指示等が主な活動となる。	
1860年	戦時中に作られたナイチンゲール募金が45000ポンド(現在の約9億円)に達し、聖トーマス病院内に看護学校を創立する。	 Image
1907年	女性初のメリット勲章(現存する勲章の中で最も名誉なもの)を授けられる。	
1910年 8/13	90歳でロンドンにて生涯を閉じる。故人の遺志により墓石にはイニシャルと生没年月日のみ記されている。	

ナイチンゲールの名言 短いながら、心に響く「クリミアの天使」の言葉

- ♥ 人の思いは、言葉にするだけでは無駄だと思える。そうではなく、結果をもたらす行動に、変えるべき。
- ♥ 天使とは、美しい花をまき散らす者ではなく、苦悩する者のために戦う者である。
- ♥ 物事を始めるチャンスは、私は逃がさない。たとえマスタードの種のように小さな始まりでも、芽を出し、根を張ることがいくらでもある。
- ♥ 看護師のまさに基本は、患者が何を感じているのかを、患者に辛い思いをさせて言わせることなく、患者の表情に現れる変化から読みとることができることなのである。
- ♥ 愛というのは、その人の過ちや自分との意見の対立を許してあげられること。

